

学校教育目標

国語科シラバス

富士見市立針ヶ谷小学校 令和5年度

自分で考える子・助け合う子・じょうぶな子

学校の国語科の目標

- ・国語の特性を理解し適切に使うことができる子を育てる。
- ・相手の立場や考えを正確に理解できる子を育てる。
- ・目的や意図に応じて適切に表現できる子を育てる。
- ・進んで読書に取り組む子を育てる。
- ・国語の大切さを自覚し、国語を尊重する子を育てる。

国語科の学習

小学校の国語の学習では、日常生活に必要な、読む、書く、話す・聞くなどの基本的な内容を繰り返し学習し、確かな言語能力を育成することを重視しています。

特に本校では、目的や相手に合わせて、ICTを活用し、自分の思いを適切に表現したり、相手の思いを正確に聞き取ったりすることができる資質・能力の育成を重視した学習を進めていきます。

こんな力を育てます

国語

正確に理解し、適切に表現する資質・能力を育成し、ICTを活用して、伝え合う力を高めます。

書写

文字の正しさと美しさを認識し、文字を正しく美しく書こうとする意欲や技術を身につけます。

学校図書館

進んで本を読み、豊かな心を持つ子に育てます。図書館を上手に活用し、主体的な学習ができるようにします。

国語科の授業はこれだけあります

学年	年間授業時数	週あたりの時数
1	306時間	9時間
2	315時間	9時間
3	245時間	7時間
4	245時間	7時間
5	175時間	5時間
6	175時間	5時間

学習用端末の活用

- ・国語の力を身に付けるため、また自分の思いを表現するためのツールとして、ICT 機器の活用の充実を図ります。

わかる授業の展開

- ・基礎基本を確実に身につけさせるために、個に応じた授業を実践します。

ボランティアの方等の支援

- ・読み聞かせボランティアの保護者の方が毎週来校し、低学年を中心に読み聞かせをします。
- ・学校司書が蔵書を整理して調べやすく親しみやすい環境を作ります。

具体的な取り組みを詳記します

個別最適化された学習と、一人一人の個性を伸ばす評価

☆いろいろな面から子どもを見つめます

- ・ 発言、発表の様子
- ・ ノートやワークシート、PC
- ・ 課題への取り組み方
- ・ 自己評価
- ・ ペーパーテスト

国語がんばりタイム

隔週月曜日の業前活動は国語がんばりタイムです。言葉についての学習や短作文・PCを使ったドリル学習に取り組みます。

読書タイム・読み聞かせ

水曜日の業前活動は読書タイムまたは読み聞かせです。全校児童が本の世界に浸れる時間を確保しています。

保護者のみなさんへ

- 使用する国語ノート、漢字ノートは発達段階を考慮して指定します。2冊目からはそれに準じた物をご用意ください。
- 鉛筆はB、2Bが最適です。書写（硬筆）では4B、6Bを使用します。また、正しく美しい文字を書く入門期ととらえ、基本的にシャープペンシルの使用は禁止します。
- 家庭での音読を課題に出しています。ぜひ、お子さんの音読を聞いてあげてください。



学校教育目標

社会科シラバス

富士見市立針ヶ谷小学校 令和5年度

自分で考える子・助け合う子・じょうぶな子

学校の社会科の目標

社会生活についての理解を図り、我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を育て、国際社会に生きる平和で民主的な国家・社会の形成者として必要な公民的資質の基礎を養います。

社会科で学習すること

- ・3年生は地域や市に関する内容を取り上げます。
- ・4年生は県に関する内容を取り上げます。
- ・5年生は我が国の国土と産業に関する内容を取り上げます。
- ・6年生は我が国の歴史と政治、国際理解に関する内容を取り上げます

こんな力を育てます

3・4年生

- ・地域について学び地域社会の一員として自覚を育てます。
- ・地域社会に対する誇りと愛情を育てます。

5年生

- ・国土に対する愛情を育てます。
- ・我が国の産業の発展や社会の情報化の進展に関心を持つことができるようになります。

6年生

- ・国を愛する心情を育てます。
- ・世界の国々の人々と共に生きていくことが大切であることを自覚できるようにします。

具体的な取り組みを紹介します

わかる授業の展開

- ・具体物を使用しながら授業を展開し、より分かりやすくします。
- ・社会科見学により、実際に体験することでより体験をもとに実感を伴った学びを行います。

一人一人を認め、生かし、伸ばす評価

☆いろいろな面から子供を見つめます。

- ・発言、発表の様子
- ・ノートやワークシート
- ・課題への取り組み方
- ・ペーパーテスト
- ・新聞などのまとめ方

地域密着した学習

消防署や警察署、南畑城公園、資料館、水子貝塚公園などに見学に行き、地域を大切にしたい学習を行います。

図書室や一人一台の端末を活用した学習

学習したことをさらに深めるために調べ学習をします。多くの資料の中から調べたい内容を選択することで情報処理能力が高まります。



社会科の授業はこれだけあります

学年	年間授業時数	週あたりの時数
3	70時間	2時間
4	90時間	2または3時間
5	100時間	2または3時間
6	105時間	3時間

保護者のみなさんへ

- 社会の学習では基本的に3・4年生は富士見市独自の副読本「ふじみ」を使用します。5・6年生は教科書（東京書籍）を使用します。お子さんの学習状況を知る上でご一読くださるようお願いいたします。
- 使用する社会科ノートは各学年で指定します。2冊目からはそれに準じたものをご用意ください。

学校教育目標

自分で考える子・助け合う子・じょうぶな子

学校の算数科の目標

- ・算数的活動を通し、数量や図形についての基礎的、基本的な知識や技能を身に付けることができる子を育てる。
- ・日常の事象について見通しをもち、筋道を立てて考え、表現できる子を育てる。
- ・活動の楽しさや数理的な処理のよさが分かり、進んで生活や学習に活用できる子を育てる。

算数科シラバス

算数科の学習

変化の激しいこれからの社会を生きる児童に大切なのは、自分で課題を見つけ、自ら学び、考え、判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育成することです。

算数科では、これからの生きる力をはぐむために、児童が基礎・基本を確実に身に付けられるように、意味理解を大切にした指導や粘り強く学習に取り組む姿勢の育成など、さまざまな工夫をし、学習内容の定着を図ります。

こんな力を育てます

- 数量や図形についての学習を通し、身の回りにある様々な事象について合理的に表現したり、とらえたり、判断する力を育てます。
- 基礎的基本的な知識や技能を身に付けさせ、自ら学び自ら考える力と態度を育てます。
- 日常の事象について見通しを持ち筋道を立てて考える力を高めていきます。
- 算数的活動を積極的に取り入れ、活動の楽しさと数理的に処理する態度を育てます。
- 算数の中で学習したことを生活の中で生かす態度を育てます。

具体的な取り組みを紹介します

●わかる授業の展開

1～6年生で、ICT機器を活用した学び合い、伝えあい活動を通して、学習内容の深い理解を促します。また、個々の定着度に応じた寺子屋プリントの活用を行うことで学力の定着を図ります。

●一人一人を認め、生かし、伸ばす評価

☆いろいろな面から子どもを見つめます。

- ・課題への取り組み・発言、発表の様子・ノートやワークシート・ドリルやプリント・自己評価（振り返り）・テスト

●がんばりタイム

隔週月曜日の業前活動は、基礎基本となる計算をタブレット等の活用を通して取り組み、着実に力が付くよう支援していきます。

●算数的活動の取り組み

算数的活動を通し、児童を主体的に活動させ、算数の楽しさや良さが感じられる授業を工夫します。教材・教具を効果的に利用し、体験的活動を取り入れます。



●自主的に学習する児童の育成

6年間の学習の振り返りがいつでもできるよう、おさらいプリント（基礎）、おかわりプリント（応用）の棚の設置、ICT機器の持ち帰り等を実施し、いつでも児童が学習できる環境を整えています。

算数科の授業はこれだけあります

学年	年間授業時数	週あたりの時数
1	136時間	4時間
2	175時間	5時間
3	175時間	5時間
4	175時間	5時間
5	175時間	5時間
6	175時間	5時間

保護者のみなさんへ

- 算数の学習では、教科書（東京書籍）を使用して学習を進めます。お子さんの学習状況を知る上でも、ご一読くださるようお願いいたします。なお、教科書以外では寺子屋プリントを購入しています。家庭学習でも活用をお願いします。
- 使用する算数ノートは発達段階を考慮して各学年で指定します。指定したノートを用意してください。

学校教育目標

自分で考える子・助け合う子・じょうぶな子

学校の理科の目標

自然に親しみ、理科の見方・考え方を働かせ、見通しを持って観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象についての問題を科学的に解決するために必要な資質・能力を育成することを目指します。

具体的な取り組みを詳記します

わかる授業の展開

体験的な活動を重視して、「課題の設定」「予想」「実験・観察」「結果」「考察」を行い、問題を解決する力や科学的な見方や考え方を育てます。

一人ひとりを認め、生かし、伸ばす評価

☆いろいろな面から子どもを見つめます。

- ・ワークシート
- ・自己評価
- ・課題への取り組み方
- ・発表
- ・活動の様子
- ・ICTの活用

言語表現を重視します

学んだことを生かし、比較したり、関係づけたり、条件を整えたり変えたり、推論したりする活動を「書く」「話す・聞く」「話し合う」ことに加え、写真・動画、PCを活用しながら、個別最適の学習に取り組めます。

ボランティアの方等の支援

市より配置された、理科支援員と協力し、個に応じた指導を行います。



理科シラバス

理科で学習すること大きく「物質とエネルギー」、「生命・地球」とに区分し、実験・観察などを行います。

- 【3年】 「風とゴム」「光と音」「磁石と電気」「身の回りの生物」「太陽と地面」等
- 【4年】 「空気、水、金属の性質」「電流」「人の体のつくり」「雨水の行方と地面」「動物の活動や植物の成長」「気象現象」「月や星」等
- 【5年】 「物の溶け方」「ふりこのきまり」「電流がうみだす力」「天気の変化」「生命の連続性」「流れる水の働き」等
- 【6年】 「燃焼」「水溶液の性質」「てこの規則性」「電気」「生物の体のつくりと働き」「土地のつくりと変化」「月と太陽」「くらしと環境」等

こんな力を育てます

- 自然事象への理解を図り、観察、実験などに関する基本的な技能を身につけます。
- 観察や実験を通して、問題解決の力を養います。
- 自然を愛する心情や主体的に問題解決しようとする態度を養います。

理科の授業はこれだけあります

学年	年間授業時数	週あたりの時数
3	90時間	2または3時間
4	105時間	3時間
5	105時間	3時間
6	105時間	3時間

保護者のみなさんへ

- 身近な自然と関わる体験を大切にしてください。
- 身近な自然現象からの発見や疑問が理科の学習のスタートです。「やってみれば」「調べてみたら。」と声をかけてください。
- 夏休みの課題として、「科学教育振興展覧会」があります。ぜひ、お子さんに挑戦させてください。

学校教育目標

自分で考える子・助け合う子・じょうぶな子

学校の生活科の目標

- ・自分自身、身近な人々、社会及び自然の特徴やよさ、それらの関わり等に気付くとともに、生活上必要な習慣や技能を身に付けるようにする。
- ・身近な人々、社会及び自然を自分との関わりで捉え、自分自身や自分の生活について考え、表現することができるようにする。
- ・身近な人々、社会及び自然に働きかけ、意欲や自信をもって学んだり生活を豊かにしたりしようとする態度を養う。

生活科シラバス

富士見市立針ヶ谷小学校 令和5年度

生活科で学習すること

- ・具体的な活動や体験を通して、自分と身近な人々、地域の施設や自然とのかかわりに関心を持ち、自分自身や自分の生活について考える学習を重視しています。
- ・遊びのルールや時間を守るといった生活上必要な習慣や技能を身につけさせること、それに伴い、学習上・生活上・精神的な自立への基礎を養う学習を行います。

こんな力を育てます

自他のよさに気付き、身近な人々、地域の施設とのかかわりを深めながら共に生きていくことができる資質や能力（人とかかわる資質や能力）を育てます。そのために、自ら人と関わりたいという願いを高めるとともに、自分の意思を的確に伝え、人の話を聞くことができるコミュニケーション能力や相手を思いやる心を育てます。

具体的な取り組みを詳記します

わかる授業の展開

地域に出かける、人々と関わる、実際にやってみるなど、見る、聞く、触れる、作る、探す、育てる、遊ぶ等の具体的な活動を重視します。その中で「感じること」「考えること」「気づくこと」を大切にしていきます。

一人一人を認め、生かし、伸ばす評価

☆いろいろな面から子どもを見つめます。

- ・ ワークシート
- ・ 課題への取り組み方
- ・ 活動の様子
- ・ 自己評価

言語活動を大切にします

見たり、探したり、育てたり、作ったりしたことを書いたり、伝え合ったりする活動を大切にします。そのために国語科で学習した「話すこと」「聞くこと」「書くこと」「話し合うこと」などの言語活動と関連させて学習します。

生活上必要な習慣や技能を大切にします。

「生活のリズムを整える」「病気の予防」「遊びのルールを守る」「時間を守る」「道具を使ったり、ものを作ったりする」などを実践していきます。

ICTの活用

自然の様子や四季の変化に気付くために、写真に撮って記録し、見比べます。また、iPadを使って、友達と自分の考えを交流しています。

生活科の授業はこれだけあります

学年	年間授業時数	週あたりの時数
1	102時間	3時間
2	105時間	3時間
3		
4		
5		
6		

保護者のみなさんへ

- 地域に出かけたり、人々と関わったり、体験を基にした学習を行うため、ザリガニつりの引率など、子どもたちの体験活動のお手伝いをお願いすることがあります。ご協力をお願いします。
- 2年生の3学期の学習では、自分の成長についての記録をまとめていきます。ご協力していただくことがあるかもしれません。よろしくお願いします。

学校教育目標

自分で考える子・助け合う子・じょうぶな子

学校の音楽科の目標

- 歌詞や曲想、音楽を特徴付けている要素を感じ取り、自分の思いを工夫して表現できる子を育てる。
- 友達とのかかわりを大切にして、互いに認め合える子を育てる。
- 進んで音楽にかかわり、粘り強く練習に取り組む態度を育てる。

音楽科シラバス

音楽科で学習すること

- 範唱を聴いたり楽譜を見たりして、斉唱や合唱をします。また、歌詞の意味を考え、自分の思いや意図が伝わるように歌い方の工夫をします。
- 範奏を聴いたり楽譜を見たりして、鍵盤ハーモニカやリコーダーを中心に楽器の演奏をします。また、曲想を感じ取り、自分の思いや意図を持って演奏の仕方を工夫します。
- 曲想を感じ取ったり、音楽を形づくっている要素のかかわり合いを感じとったりしながら音楽を鑑賞します。
- 音の面白さに気付いたりその響きや組み合わせを楽しんだりしながら簡単な音楽をつくる活動をします。

具体的な取り組みを詳記します

わかる授業の展開

- ・基礎的・基本的な知識・技能の習得を目指して、ICTを活用しながら、スモールステップの授業や、個に応じた指導を進めていきます。

一人一人を認め、生かし、伸ばす評価

- ☆ いろいろな面から子どもを見つめます。
- ・発表・発言 つぶやき
- ・演奏
- ・活動の様子
- ・ワークシート

様々な音楽に親しむ

- ・教科書の曲だけでなく、児童の実態や心情に合う曲を取り入れて、授業を進めます。
- ・「今月の歌」は季節や行事に合わせて全学年で歌える曲を選び、音楽朝会では歌い合わせる楽しさを味わいます。
- ・校内音楽会では、様々なジャンルから選曲し、いろいろな音楽のよさを味わえるようにします。
- ・音楽鑑賞教室では、いろいろなジャンルの音楽が鑑賞できるよう、プログラムを工夫します。

豊かな音楽体験で感性を育てます

例年、市内音楽鑑賞会（5・6年対象）に参加しています。
また、校内音楽鑑賞教室やゲストティーチャーを招いた授業など、生の音楽を聴く機会を積極的につくっていきます。



富士見市立針ヶ谷小学校 令和5年度

こんな力を育てます

- ・歌唱の活動を支える歌い方を身に付け、楽しく斉唱や合唱に取り組み、基礎的な歌唱の力を育てます。
- ・器楽の活動を支える演奏の仕方を身に付け、楽しく独奏や合奏をする活動を通して基礎的な器楽の能力を育てます。
- ・曲想や特徴付けている要素を感じ取り、表現を工夫する力を育てます。
- ・楽曲の特徴や演奏のよさを理解することを通して、基礎的な鑑賞の能力を身に付けます。
- ・音の面白さに気付いたり響きや組み合わせを楽しんだりしながら音遊びをし、音楽をつくって表現する力をつけていきます。

音楽科の授業はこれだけあります

学年	年間授業時数	週あたりの時数
1	68時間	2時間
2	70時間	2時間
3	60時間	1時間または2時間
4	60時間	1時間または2時間
5	50時間	1時間または2時間
6	50時間	1時間または2時間

保護者のみなさんへ

- ・校内音楽会には例年、多数のご参加をいただいております。子どもたちの一生懸命な姿を見ていただける貴重な機会となっています。
- ・長期休業中は持ち帰った楽器（リコーダー・鍵盤ハーモニカ）の点検や掃除の声かけをお願いします。また、学期始めには忘れ物のないよう、確認のご協力をお願いします。

学校教育目標

自分で考える子・助け合う子・じょうぶな子

学校の図画工作科の目標

- ・ 感じたことや想像したことなどを造形的に表す子どもを育てる。
- ・ 作品などからそのよさや美しさなどを感じ取る子どもを育てる。
- ・ 感性を働かせながらつくりだす喜びを味わう子どもを育てる。

図画工作科シラバス

図画工作科で学習すること

- 材料や場所などの特徴を基に、並べたり、つないだり、積んだりするなど、体全体をはたらかせて**造形遊び**をします。
- 感じたこと、想像したこと、見たこと、伝えたいことから、**自分が表したいことを絵**に表します。
- 感じたこと、想像したこと、見たこと、伝えたいことから、**ねん土などの立体**に表します。
- 感じたこと、想像したこと、見たこと、伝えたいことなどから、**目的に合った工作**に表します。
- 身の回りの作品などを**鑑賞**します。

こんな力を育てます

- ・ 形や色、材料などを基に、造形遊びをする活動を通して、発想や構想の能力や創造的な技能を育てます。
- ・ 感じたこと、想像したこと、見たことなどから、児童が表したいことを絵や立体、工作に表す活動を通して、発想や構想の能力や創造的な技能を育てます。
- ・ 作品などを鑑賞する活動を通して、鑑賞の能力を育てます。
- ・ 児童が形や色などの特徴をとらえ、自分なりのイメージをもつ能力を育てます。

具体的な取り組みを紹介します

● わかる授業の展開

一人一人が個性などのよさを発揮して発想や構想の能力、鑑賞の能力等を高められるように、個に応じた指導に努めます。

● 一人一人を認め、生かし、伸ばす評価

- ☆ いろいろな面から子どもを見つめます。
- ・ 発言、発表、つぶやき
 - ・ ノートやワークシート
 - ・ 表情、動き、活動の様子
 - ・ 作品
 - ・ 自己評価

● 作品を鑑賞する機会

- ・ 取り組んだ作品は、学年で廊下やホールなどに展示します。
- ・ 中央昇降口の展示ケースに、各学年順番に作品を展示します。
- ・ 夏休み明けには、校内で、夏休み作品展を開きます。
- ・ 入選作品を、印刷室前や職員玄関等に展示します。

● 美術展への出品

- 1学期：身障者展
- 2学期：郷土展
- 3学期：児童生徒美術展



図画工作科の授業はこれだけあります

学年	年間授業時数	週あたりの時数
1	68時間	2時間
2	70時間	2時間
3	60時間	1または2時間
4	60時間	1または2時間
5	50時間	1または2時間
6	50時間	1または2時間

保護者のみなさんへ

- 絵や立体、工作に表すときに、自分の表したいものに合った材料を使うことがあります。普段から、材料を集めていただけると助かります。
(例) 空き箱、包装紙、包み紙、ボタン、ビーズ、キャップ、リボン、毛糸、紙紐、ラップの芯など、牛乳パック、プリンカップ、卵パックなど、木の実、貝殻、小枝など…
- ※ 100円均一などの既成の工作材料よりも、身近なものがよいです。
- 長期休業中は、絵の具や色鉛筆、クレヨン、のりなどの点検と補充をお願いします。

学校教育目標

自分で考える子・助け合う子・じょうぶな子

学校の家庭科の目標

- ・衣食住や家庭生活などに関する実践的・体験的な活動を通して、自分の成長を自覚するとともに家庭生活への関心を高め、その大切さに気付かせる。
- ・日常生活に必要な基礎的・基本的な知識及び技能を身につけ、身近な生活に活用できるようにする。
- ・自分と家族のかかわりを考えて、実践する喜びを味わい、家庭生活をよりよくしようとする。

家庭科シラバス

富士見市立針ヶ谷小学校 令和5年度

家庭科で学習すること

児童が自分と家族とのかかわりを考えながら、家庭生活への関心を深めて生活に必要な基礎的技術を身につけ、家族の一員として自覚をもち、生活を工夫することが求められています。

特に本校では、自分の生活を見つめ、家庭生活をよりよくしよう工夫し、実践する児童の育成を目指した学習をすすめていきます。

こんな力を育てます

- ・実践的・体験的な学習を取り入れ、日常生活に必要な基礎的な知識や技能を身につけるようにします。
- ・学校生活だけでなく、家庭生活においても学習したことを生かし、よりよい生活にするための工夫した行動ができるよう、学習内容を広げていきます。

一人一人を認め、生かし、伸ばす評価

- ・单元ごとのテストやワークシートでは、生活をよりよくしていこうとする意欲や知識、実践力を評価します。
- ・実習や作品などでは、衣食住に関する基礎的な技術を評価します。

わかる授業の展開

- ・実践的・体験的な学習活動に加え、デジタル教科書を取り入れ、分かりやすい個別最適な授業を展開していきます。

発明・創意工夫展への出品

創作の喜びや発明工夫の楽しさを味わうことを通して、豊かな観察力、創造力を育成します。

夏休み中に是非チャレンジしてみてください。

- ・発明・創意工夫のあるもの
 - ・家庭生活につながりにあるもの
 - ・教科教材につながりがあるもの
 - ・努力の認められるもの
 - ・自作のもの
- 入選作品は、正面玄関入りロケースに展示してあります。

ボランティア・ゲストティーチャー等の支援

- ・調理実習やマシンでの作品製作の時には、ボランティアの協力を得て学習を充実させています。
- ・栄養教諭をお招きし、専門的な見地からサポートしていただき、授業を充実させます。



家庭科の授業時数

学年	年間授業時数	週あたりの時数
1		
2		
3		
4		
5	60 時間	1または2時間
6	55 時間	1または2時間

保護者のみなさんへ

○家庭の仕事を積極的に手伝い、日頃から生活体験を増やすことが大切です。特に調理・掃除・衣服の手入れ等は、段取りのよい手順や用具の使い方など体験の有無では、大きく差があります。休日や長期の休みを利用してたくさん体験させてください。

○日頃から、生活に関する社会の出来事に関心を持たせたり、家族からより良い生活の知恵を聞かせてあげたりしてください。

学校教育目標

自分で考える子・助け合う子・じょうぶな子

学校の体育科の目標

自ら進んで運動する子

～運動好きな児童の育成～

【重点目標】

自ら運動する意欲を培い、運動に親しむ資質や能力を育てるとともに基礎的な体力を養う。



具体的な取り組みを詳記します

特色ある取り組み

- ★ふれあい運動タイム
毎週金曜日の朝は、全校で鬼ごっこ・登り棒・走り幅跳び・ボール投げ・綱引き・ドッジボール・リズム縄跳びなどに取り組み、体力の向上を図ります。行事の前後には集団行動や時間走も行います。
- ★学校行事としての取り組み
 - ・運動会
 - ・陸上記録会(6年)
 - ・風の子マラソン記録会

わかる授業の展開

- ★児童のめあてや活動に合った教材、用具を工夫し、基礎基本を身につけさせます。
- ★健康・安全の大切さを理解できるようにします。



体力を高めるために

- ★新体力テストの結果をもとに「針ヶ谷小の体力」を作成しています。測定結果から向上させたい2種目を課題に挙げ、取り組んでいきます。
- ★埼玉県「すくすくプログラム」に即した動きを授業の中に取り入れ、様々な動きや感覚を身につけさせます。

*ICTの活用

- ★上達した様子がわかるように、単元の初めと終わりで動画撮影をする。

体育科シラバス

体育科で学習すること

小学校の体育の学習では、心と体を一体としてとらえ、適切な運動の経験と健康・安全についての理解を通して、運動に親しむ資質や能力を育てるとともに、健康の保持増進と体力の向上を図り、楽しく明るい生活を営む態度を育成します。

富士見市立針ヶ谷小学校 令和5年度

こんな力を育てます



運動領域

- 体育科の各領域において児童の興味関心を高めるとともに、基礎技能を身につけます。
- 授業を中心に、児童の体力の向上を目指すとともに日常から運動に親しもうとする意欲を養います。

保健領域

- 自分の体について理解し、健康で安全な生活をおくろうとする態度を育てます。

体育の授業時数

学年	年間授業時数	週あたりの時数
1	102時間	3時間
2	105時間	3時間
3	105時間	3時間
4	105時間	3時間
5	90時間	2または3時間
6	90時間	2または3時間

保護者のみなさんへ

- ・本校では普段着で登下校するため、体育着の着替えを行います。つねに清潔なものを着用できるようにしてください。
- ・冬は体育着の上に長袖・長ズボンの着用を可とします。チャックやボタン、フードのないものに名札を付け、必要に応じてご用意ください。
- ・肌着の着用を認めています。暑い時期には多くの汗をかくため、着替えを持たせてください。



学校教育目標

自分で考える子・助け合う子・じょうぶな子

学校の道徳の目標

- ・基本的な生活習慣を身につけ、自ら進んでよりよい生活ができるようにする。
- ・相手の立場もよく考えて行動し、なかよく助け合うことができるようにする。
- ・生命の尊さを知り、命あるものを大切にすることができるようにする。
- ・約束やきまりを守り、公のために役立つことができる。

道徳科シラバス

道徳科で学習すること

人間は本来「人としてよりよく生きたい」という願いを持っています。
このような願いやよりよい生き方を求めて実践する人間の育成を目指して、その基盤となる道徳性を養うため、話し合い活動や体験活動を行います。
学校の教育活動全体を通して行う道徳教育の要となるのが、道徳の時間です。

こんな力を育てます

道徳で学習する項目

- 1 自分自身に関すること
- 2 他人とのかかわりに関すること
- 3 自然や崇高なもののかかわりに関すること
- 4 集団や社会のかかわりに関すること

道徳性を養う視点

- ① 道徳的諸価値について理解する
- ② 自己を見つめる
- ③ 物事を多面的・多角的に考える
- ④ 自己の生き方について考えを深める

具体的な取り組みを紹介します

道徳教育を行う場

学校の教育活動全体を通じて行い、道徳の時間をはじめとして各教科、特別活動及び総合的な学習の時間のそれぞれ特質に応じて学習します。

道徳の教科書とワークシート(ノート)の活用

- 「新しい道徳」は子どもたちの心の教育を充実させることを目的に作成されています。
- 何度も読み直したり、自己の生活や体験を振り返ったり、自らの心に留めておきたいことを記録することができます。
- 自己を見つめ心を豊かに育んでいくことを願って活用していきます。

「規律ある態度」を重視します。

基本的な生活習慣、学校や社会のきまり、基本的なモラルの育成を重視した活動を行います。
学級活動や児童会活動と関連させ「いじめ防止」にも力を入れていきます。

「彩の国の道徳」の活用

本県独自の道徳教材「彩の国の道徳」の活用を通じて、道徳教育の充実を図っています。また、学校と保護者の共通理解を図り、家庭においても同じ視点に立って子どもたちの道徳心をはぐくんでいただくために、家庭用「彩の国の道徳」を入学時に全家庭へ配布しています。



道徳の授業はこれだけあります

学年	年間授業時数	週あたりの時数
1	34時間	1時間
2	35時間	1時間
3	35時間	1時間
4	35時間	1時間
5	35時間	1時間
6	35時間	1時間

保護者のみなさんへ

- 道徳は、日常生活や教育活動全体を通して、豊かな心をたがやし、育てていくものです。子どもたちの心の変化を敏感に感じ取るためにも、日ごろの声かけやコミュニケーションを大切にしてください。
- 教科書「新しい道徳」や「家庭用彩の国の道徳」を活用して、家庭との連携を図っていきますので、お子さんと一緒に考えたり話し合ったりするなどのご協力をお願いします。

学校教育目標

外国語活動・外国語科シラバス

富士見市立針ヶ谷小学校 令和5年度

自分で考える子・助け合う子・じょうぶな子

学校の外国語活動・外国語の目標

外国語活動

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、話すことの言語活動を通して、コミュニケーションを図る素地となる資質・能力を育成する。

外国語

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、コミュニケーションを図る基礎となる資質・能力を育成する。

外国語活動・外国語科で学習すること

- 外国語（英語）を用いてコミュニケーションを図る楽しさを体験します。
- 外国語（英語）を聞いたり、話したりします。
- 外国語（英語）の音声やリズムなどに親しみ、日本語との違いを知り、言葉の面白さを味わいます。
- 外国の生活、習慣、行事などを体験します。
- 異なる文化をもつ人々との交流等を体験します。
- 高学年は、読む、書く学習も始まります。アルファベットを4線上に正しく書けるようにします。聞く・話すで慣れ親しんだ単語や表現を書き写せるようにします。

こんな力を育てます

- 幅広い言語に関する能力や国際感覚の基盤を培います。
- 言語の大切さや豊かさ等に気づかせたり、言語に対する興味・関心を高めたり、これらを尊重する態度を養います。
- コミュニケーションの素地や基礎となる資質・能力を育てます。
- 外国語（英語）を注意深く聞いて相手の思いを理解しようしたり、他者に対して自分の思いを伝えることの難しさや大切さを実感したりしながら、積極的に自分の思いを伝えようとする態度を育てます。

具体的な取り組みを詳記します

学習用端末の活用

学習支援アプリを活用して、コミュニケーション活動を行ったり、発表の準備をしたりします。児童用デジタル教科書も利用します。

中学年では、外国語活動一人一人を認め、生かし、伸ばす評価

聞く、話す 活動中心

「授業への取り組み」「活動の様子」「自己評価」などから、知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度について評価します。

高学年では、中学年の外国語活動に加え、教科としての学習

聞く、話す、読む、書く

日本語との違いに気づき、知識理解、基礎的スキルを高めていきます。**音声、文字および符号、文および文構造、読むこと、書くこと**の活動をしていきます。

わかる授業の展開

英語専科や担任が主となり、AET と協力して、体験的な英語のコミュニケーション活動を行います。

デジタル教材やゲームなども取り入れ、楽しみながら学習をすすめていきます。



外国語活動・外国語科の授業はこれだけあります

学年	年間授業時数	週あたりの時数
1		
2		
3	35時間	1時間
4	35時間	1時間
5	70時間	2時間
6	70時間	2時間

保護者のみなさんへ

中学年は、簡単な語句や基本的な表現を用いて友達との関わりを大切に体験的な言語活動を行います。高学年は、文法の用語や用法の指導を行うのではなく、言語活動の中で基本的な表現として繰り返し触れることを通して指導をしていきます。

学校教育目標

はりがやタイムシラバス

富士見市立針ヶ谷小学校 令和5年度

自分で考える子・助け合う子・じょうぶな子

学校のはりがやタイムの目標

探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を育てます。

はりがやタイムで学習すること

は はっけんしようわたしの課題！
り りっぱな計画をたてよう！
が がくしゅうしよう！探究しよう！
や やったことをまとめよう！発信しよう！

日常生活や社会に目を向けて児童が設定した課題について情報収集、整理分析、まとめ・表現を繰り返し探究的な学習を進めていきます。

こんな力を育てます

- ・課題の解決に必要な知識及び技能を身につける。
- ・自分で課題を立てて情報を集め、整理・分析してまとめ・表現する。
- ・探究的な学習に主体的・協働的に取り組む。

具体的な取り組みを詳記します

わかる授業の展開

- ・ 課題は、問題をよく吟味して児童が自分で作り出せるようにします。
- ・ 計画を遂行できるよう、じっくり探究活動に取り組めるよう必要な資料、教材を用意し、支援していきます。
- ・ それぞれの課題に応じてアドバイスするとともに、グループやペアでの活動も取り入れ、教えあい、励ましあいながら学習を進めていきます。

一人一人を認め、生かし、伸ばす評価

- ☆いろいろな面から子どもを見つめます。
- ・ ワークシート
 - ・ 課題への取り組み方
 - ・ 活動の様子
 - ・ 自己評価
 - ・ 発表

情報に関する学習では、プログラミングを体験しながら論理的思考力を身につけることや、情報を収集・整理・発信したり、情報が日常生活や社会に与える影響を考えたりするなどの活動を行います。

ボランティアの方等の支援

体験を基にした活動を増やし、そこから学習を深めていきたいと考えています。各学年の内容に応じて、校外学習、体験活動のお手伝い、体験談を語っていただいたり、インタビューにこたえていただいたりするなどお願いします。



はりがやタイムの授業はこれだけあります

学年	年間授業時数	週あたりの時数
3	70時間	2時間
4	70時間	2時間
5	70時間	2時間
6	70時間	2時間

保護者のみなさんへ

- 各家庭に帰って、実践を広げる場面も出てきます。お子様と一緒に取り組んだり、活動を見守ったり、ご協力よろしくをお願いします。

学校教育目標

自分で考える子・助け合う子・じょうぶな子

学校の特別活動の目標

- ・心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図り、集団の一員としてよりよい生活や人間関係を築こうとする自主的、実践的な態度を育てる。
- ・自己の生き方についての考えを深め、自己を生かす能力を養う。

特別活動シラバス

富士見市立針ヶ谷小学校 令和5年度

特別活動ですること

- ・学級をよりよくするためや問題を解決するための話し合い活動を行います。
- ・4年生以上の児童がクラブ活動を行います。
- ・5・6年生の児童が分担をして委員会活動を行います。
- ・児童の実態、学年に応じて、異年齢集団による交流、幼児、高齢者、障がいのある人々などと体験活動を行います。

こんな力を育てます

- ・よりよい人間関係を築く力を育成します。
- ・基本的な生活習慣等、自立する力を育てます。
- ・他者とともに協働し、共に生きていく態度を身につけます。
- ・集団や社会に役立とうとする実践的な態度を育てます。
- ・身近な集団活動をより楽しく充実したものに行うことができるようにします。
- ・多様な集団活動を通して、協力的に問題解決ができるようにします。

具体的な取り組みを詳記します

学級活動

- ・学級や学校におけるよりよい生活づくりや、学級内の諸問題を解決するために友達と協力して、話し合いや係活動などを進んでやります。

クラブ活動

- ・月に数回、木曜日の6時間目に4年生以上の児童が参加し、クラブ活動を行います。(球技・サッカー、手作り遊び、手芸・料理、パソコン、卓球・バドミントン、音楽、イラスト、陸上、手話)

ICTの活用

- ・全校での行事の振り返りの共有
- ・学級の実態などのアンケート調査
- ・調べ学習でのPCやiPadの活用

児童会活動

○委員会活動

月に一度、木曜日の6時間目に5・6年生の児童が分担をして委員会活動を行います。
(生活、放送、保健・給食、環境、体育、図書、JRC) ※代表委員会は休み時間に行っています。

○児童集会活動

- ・月に1回、朝10分間の集会を行います。

学校行事

- ・入学式、始業式、終業式、卒業式、朝会 等
- ・針小まつり、針小郷土かるた大会 針小ピカピカ大作戦 等
- ・運動会、交通安全教室、健康診断、風の子マラソン記録会 等
- ・林間学校、修学旅行、たてわり遠足、社会科見学

キャリア教育

- ・縦割り活動 ・針小ピカピカ大作戦
- ・1年生を迎える会、6年生を送る会
- ・職業調べ・針小まつり
- ・キャリアパスポート



学級活動の時間はこれだけあります

学年	年間授業時数	週あたりの時数
1	34時間	1時間
2	35時間	1時間
3	35時間	1時間
4	35時間	1時間
5	35時間	1時間
6	35時間	1時間

保護者のみなさんへ

- 運動会や音楽会等の学校行事は、子どもたちが努力した成果を見せる場面がたくさんあります。ぜひ、積極的にご参観ください。
- 本校は、たてわり清掃を実施しています。たてわり活動を通して、上級生は下級生のお手本となり、下級生は上級生を目標としながら、他学年とのつながりを大事にしています。